



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長 (氏名) 山崎 浩 TEL 03-5286-6231
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	34	△28.5	△316	ー	△292	ー	△293	ー
25年12月期第2四半期	47	8.8	△224	ー	△216	ー	△217	ー

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △315百万円 (ー%) 25年12月期第2四半期 △174百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△34.17	ー
25年12月期第2四半期	△31.67	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	3,783	3,089	81.4	355.10
25年12月期	2,784	2,536	90.8	309.70

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 3,080百万円 25年12月期 2,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
26年12月期	ー	0.00	ー	ー	ー
26年12月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画（平成26年12月期～平成28年12月期）」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	8,674,419株	25年12月期	8,169,419株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	127株	25年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	8,591,916株	25年12月期2Q	6,861,149株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画（平成26年12月期～平成28年12月期）」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調が続いていますが、一方で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱含んだ動きもみられました。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、平成26年5月には健康・医療戦略推進法及び独立行政法人日本医療研究開発機構法が成立し、いわゆる「日本版NIH」の実働部隊となる独立行政法人を平成27年4月に設立することが決定するなど先端医療の実用化加速が進みつつあります。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は34,208千円(前年同四半期比13,620千円の減少)、営業損失は316,658千円(前年同四半期比92,271千円の増加)、経常損失は292,496千円(前年同四半期比76,163千円の増加)、四半期純損失は293,559千円(前年同四半期比76,256千円の増加)となりました。

また、平成26年6月に上述のような日本における再生医療産業化の機運などマクロ環境変化を成長機会として積極的に先取りし、当社の成長を加速する経営体制を早期に構築するため代表取締役社長を橋本せつ子に異動いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また当社器材製品の積極的な販売促進活動にも取り組みました。

以上のような活動の結果、売上高は34,208千円(前年同四半期比13,620千円の減少)営業損失は25,561千円(前年同四半期比21,717千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、複数の細胞シート再生医療医薬品パイプラインに関する研究開発を推進しております。

当社は「事業提携」の実現により、細胞シート再生医療第1号製品の事業化を図ることを中期経営計画の第1の柱としており、その実現のため前期に引き続き特定の相手方と交渉を推進いたしました。また、細胞シートの受託加工実施のための準備も並行して実施いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は142,158千円(前年同四半期比23,455千円の増加)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて999,368千円増加し、3,747,057千円となりました。これは主に、現金及び預金が995,192千円、売掛金が7,947千円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて456千円減少し、36,482千円となりました。これは主に、投資その他の資産が1,704千円減少したこと及び工具、器具及び備品が1,098千円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて998,912千円増加し、3,783,539千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて445,671千円減少し、693,995千円となりました。これは主に、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が500,000千円増加したこと及び未払金が32,519千円減少し、また「最先端研究開発支援プログラム(FIRSTプログラム)」の委託契約終了に伴う補助金収入を営業外収益として19,351千円計上したことを主因として前受金が17,093千円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて445,671千円増加し、693,995千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて553,241千円増加し、3,089,543千円となりました。これは主に、新株予約権の行使を通じて新株を発行したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ432,658千円増加したものの、四半期純損失293,559千円を計上したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて2,991,953千円増加し、3,683,919千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は336,729千円(前年同四半期比145,363千円の収入減)となりました。これは主に、平成25年度「再生医療等産業化促進事業」の委託契約終了による補助金17,411千円の受領があったものの、未払金32,422千円の減少及び税金等調整前四半期純損失292,496千円を計上したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,581千円(前年同四半期比8,816千円の収入減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得により1,388千円の支出したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は1,355,369千円(前年同四半期比723,741千円の収入増)となりました。これは新株予約権の行使を通じて新株を発行したこと及び転換社債を発行したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画(平成26年12月期～平成28年12月期)」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の発行及び行使による資金調達並びに全社的な支出抑制の実施により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は2,688,727千円となり、財務基盤については大幅な改善を実現しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は実施しておりませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を目的とした事業提携の実現

当社グループは、引き続き特定の相手方と守秘義務契約を締結して事業提携交渉を進めております。当四半期連結会計期間までに具体化したものはございませんでしたが、当社グループはこれらの交渉を通じた事業提携の実現を当該状況の解消を図る上での最優先課題と位置付けて引き続き推進していく所存です。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,688,727	3,683,919
売掛金	9,959	17,907
商品及び製品	7,913	9,268
仕掛品	6,885	3,146
原材料	388	976
前払費用	21,602	21,481
その他	12,212	10,357
流動資産合計	2,747,688	3,747,057
固定資産		
有形固定資産	—	1,098
無形固定資産	—	149
投資その他の資産	36,938	35,233
固定資産合計	36,938	36,482
資産合計	2,784,627	3,783,539
負債の部		
流動負債		
買掛金	867	1,203
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	500,000
未払金	50,999	18,480
未払法人税等	19,719	13,199
前受金	160,021	142,928
その他	16,716	18,184
流動負債合計	248,324	693,995
負債合計	248,324	693,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,877,807	5,310,466
資本剰余金	4,857,807	5,290,466
利益剰余金	△7,289,024	△7,582,583
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,446,390	3,018,148
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83,599	62,066
その他の包括利益累計額合計	83,599	62,066
新株予約権	6,312	9,328
純資産合計	2,536,302	3,089,543
負債純資産合計	2,784,627	3,783,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	47,829	34,208
売上原価	32,295	24,372
売上総利益	15,534	9,836
販売費及び一般管理費		
研究開発費	87,549	98,987
その他	152,371	227,507
販売費及び一般管理費合計	239,921	326,495
営業損失(△)	△224,387	△316,658
営業外収益		
受取利息	23	264
補助金収入	76,177	36,763
為替差益	—	13
その他	574	296
営業外収益合計	76,775	37,337
営業外費用		
為替差損	39,339	—
株式交付費	2,370	5,070
支払手数料	27,012	7,893
その他	—	211
営業外費用合計	68,721	13,175
経常損失(△)	△216,333	△292,496
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,333	△292,496
法人税、住民税及び事業税	969	1,062
法人税等合計	969	1,062
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,302	△293,559
四半期純損失(△)	△217,302	△293,559

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,302	△293,559
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	42,456	△21,532
その他の包括利益合計	42,456	△21,532
四半期包括利益	△174,845	△315,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△174,845	△315,091
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,333	△292,496
減価償却費	694	1,000
受取利息	△23	△264
為替差損益(△は益)	20,589	915
補助金収入	△76,177	△36,763
株式交付費	2,370	5,070
支払手数料	27,012	7,893
売上債権の増減額(△は増加)	△5,298	△7,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,685	1,796
前渡金の増減額(△は増加)	8,658	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,147	797
仕入債務の増減額(△は減少)	378	336
未払金の増減額(△は減少)	△19,573	△32,422
前受金の増減額(△は減少)	—	3,741
その他の流動負債の増減額(△は減少)	14,310	△4,234
小計	△233,560	△352,578
利息の受取額	18	220
補助金の受取額	43,794	17,411
法人税等の支払額	△1,620	△1,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	△191,366	△336,729
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金の差入による支出	△7,298	△27
敷金の回収による収入	14,534	—
有形固定資産の取得による支出	—	△1,388
無形固定資産の取得による支出	—	△166
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,235	△1,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	631,628	854,024
新株予約権の発行による収入	—	9,238
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	492,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	631,628	1,355,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,943	△21,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452,440	995,192
現金及び現金同等物の期首残高	239,525	2,688,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	691,966	3,683,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年1月30日から平成26年1月31日にかけて、UBS AG London Branchから第11回新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が432,658千円、資本準備金が432,658千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,310,466千円、資本準備金が5,290,466千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,829	—	47,829	—	47,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	47,829	—	47,829	—	47,829
セグメント損失（△）	△3,843	△118,702	△122,546	△101,840	△224,387

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△101,840千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,208	—	34,208	—	34,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,208	—	34,208	—	34,208
セグメント損失（△）	△25,561	△142,158	△167,719	△148,938	△316,658

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△148,938千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。